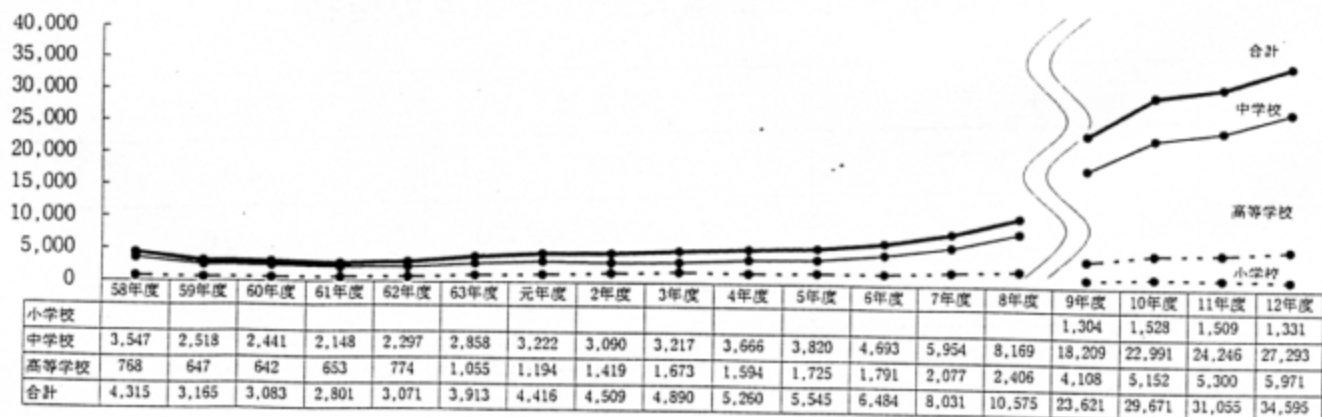


(2) 心の教育、健康教育に関する資料

① 学校内における暴力行為発生件数の推移

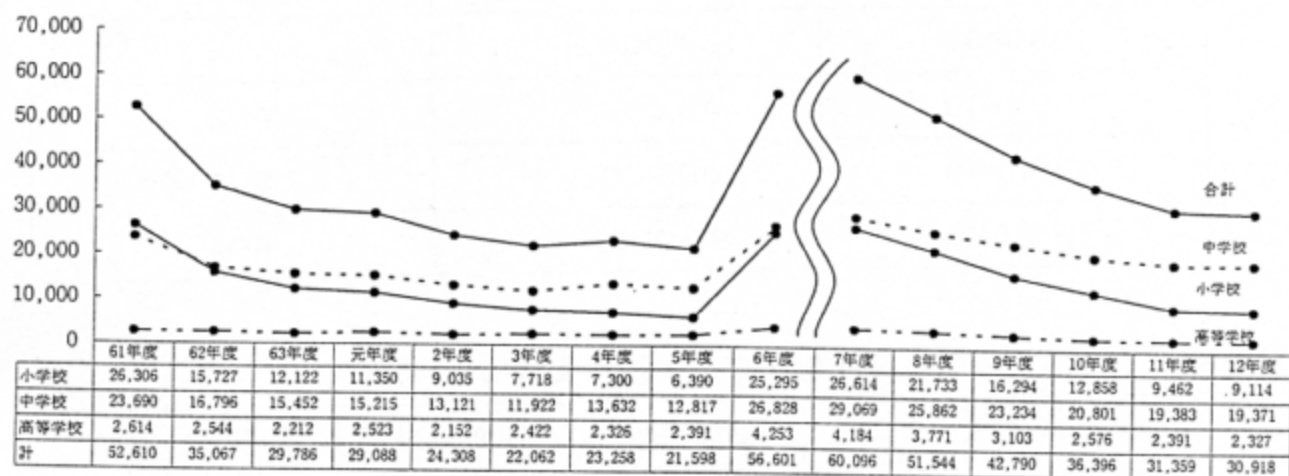


(注1) 平成8年度までは「校内暴力」の状況についての調査である。

(注2) 平成9年度からは調査方法等を改めたため、それ以前との比較はできない。なお、小学校については、平成9年度から調査を行っている。

(注3) 平成12年度は速報値。

② いじめの発生件数の推移

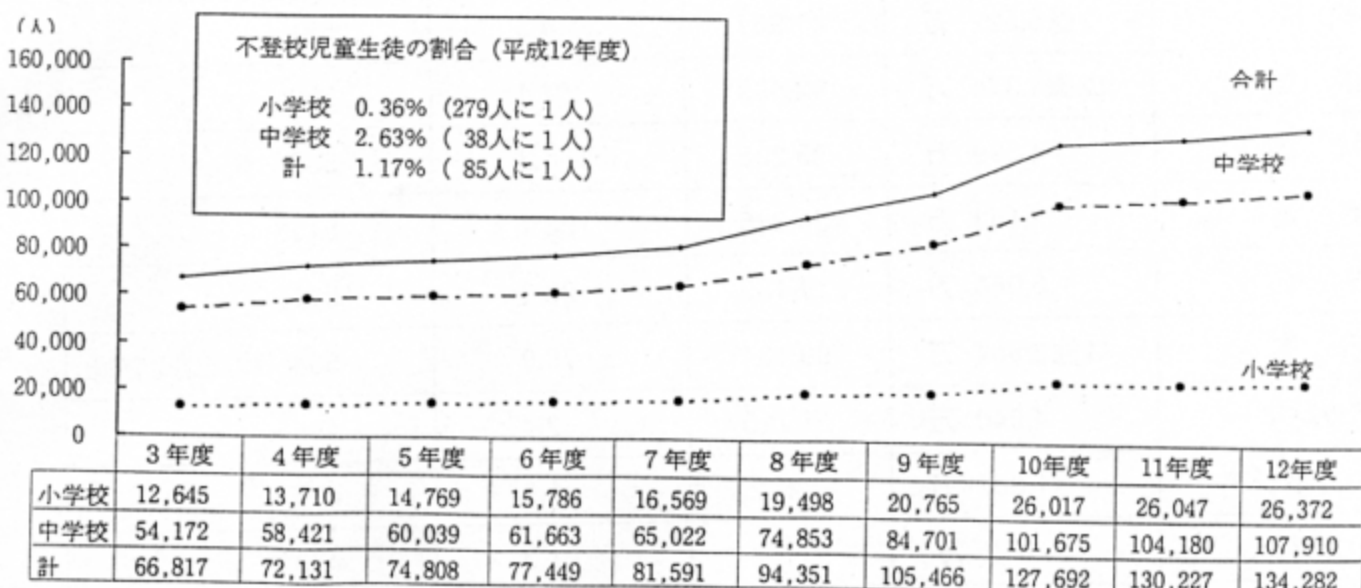


(注1) 平成6年度からは調査方法等を改めたため、それ以前との単純な比較はできない。

(注2) 平成6年度以降の計には、特殊教育諸学校の発生件数も含む。

(注3) 平成12年度は速報値。

㊦ 不登校児童生徒数の推移

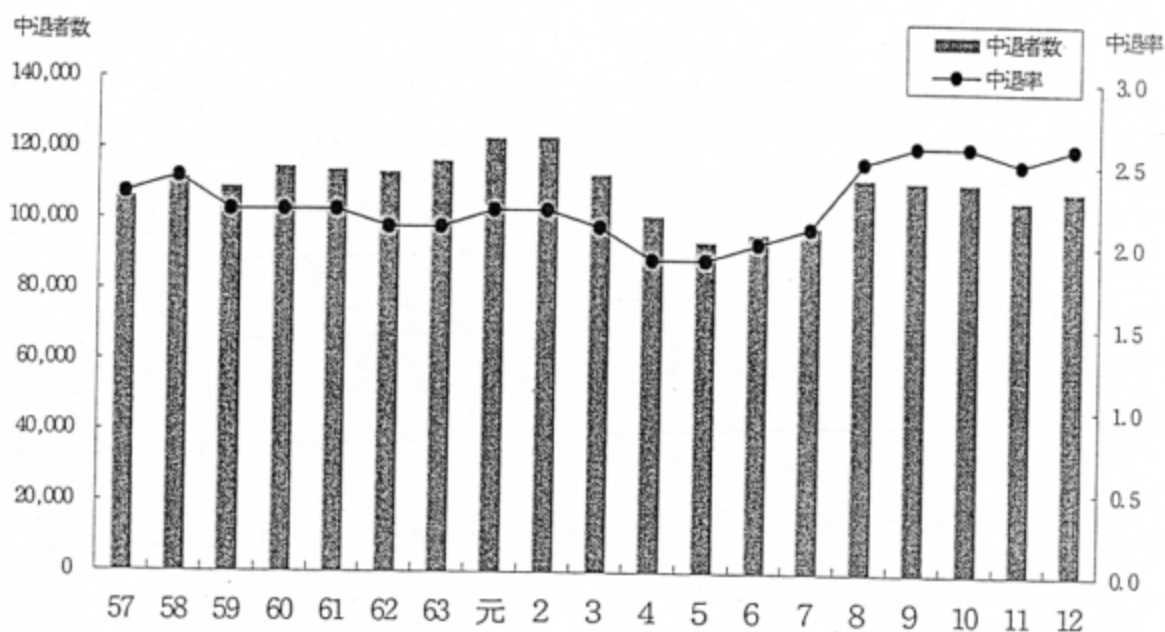


(注1) 「不登校」(平成9年度までは「学校ざらい」)を理由として年間30日以上欠席した国公私立小・中学校児童生徒数。

(注2) 平成12年度は速報値。

(「生徒指導上の諸問題の現状について」)

④公・私立高等学校における中途退学者数の推移



(注1) 調査対象：公・私立高等学校

(注2) 平成12年度は速報値。

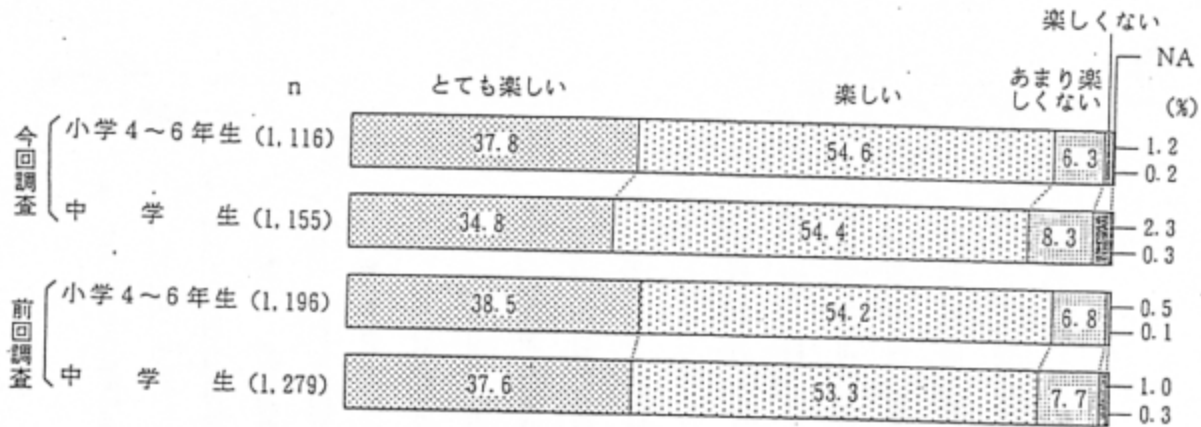
	昭和57	58	59	60	61	62	63	平成元	2
4/1現在の在籍者数(人)	4,605,200	4,693,553	4,879,203	5,161,428	5,248,099	5,363,582	5,520,951	5,628,478	5,609,353
中途退学者数(人)	106,041	111,531	109,160	114,834	113,938	113,357	116,617	123,069	123,529
中途退学率(%)	2.3	2.4	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.2	2.2

3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
5,443,237	5,201,859	4,991,109	4,850,868	4,711,305	4,528,492	4,354,543	4,242,144	4,194,747	4,150,642
112,933	101,194	94,065	96,401	98,179	112,150	111,491	111,372	106,578	109,146
2.1	1.9	1.9	2.0	2.1	2.5	2.6	2.6	2.5	2.6

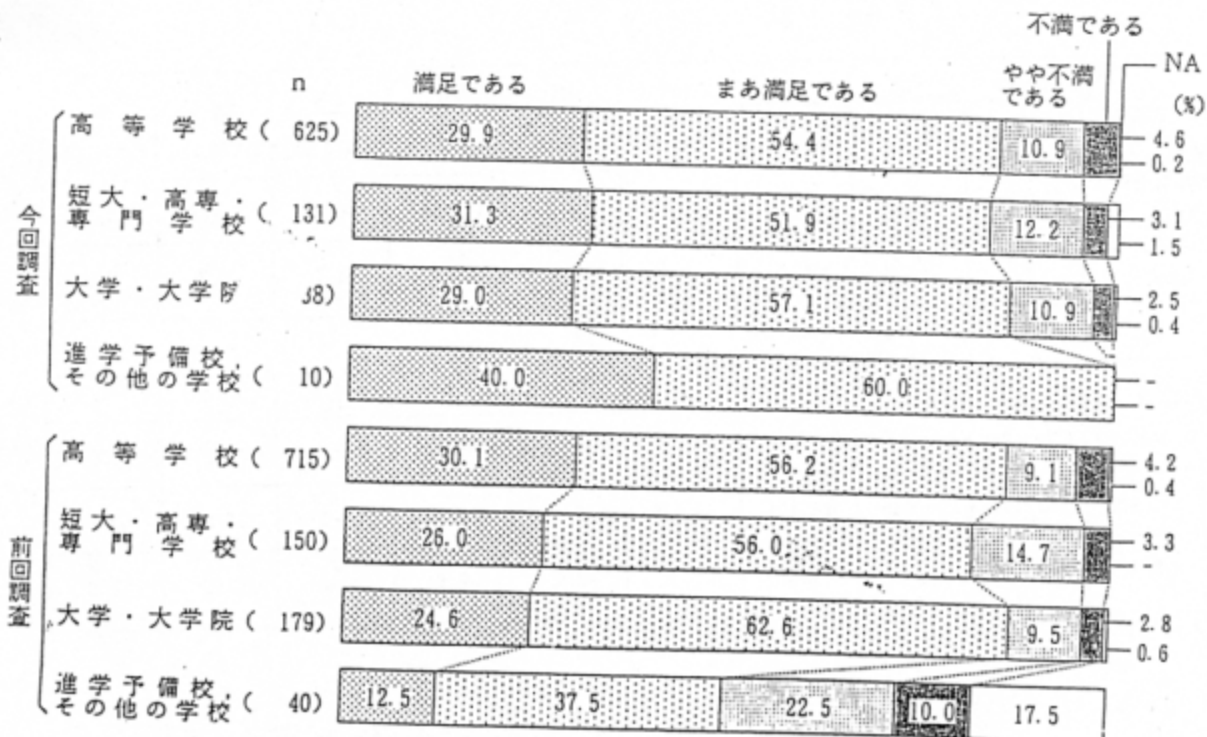
(「生徒指導上の諸問題の現状について」)

⑤学校生活への満足度

あなたは、今の学校での生活が楽しいですか。この中から一つだけ選んでください。



あなたは、現在の学校生活にどのくらい満足していますか。この中から一つだけ選んでください。



資料：「青少年の生活と意識に関する基本調査」（今回調査：平成12年、前回調査：平成7年） 総務庁

⑥出席停止に関する基本データ

60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度
137	65	41	61	66	43	62	28

5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
50	43	51	39	50	56	84
<9年度から調査開始>				1	1	0

上段は中学校、下段は小学校

(注) 平成11年度の男女別内訳は、中学校男子78名、中学校女子6名。

(「生徒指導上の諸問題の現状について」)

⑦ スクールカウンセラー活用事業補助

＜スクールカウンセラー配置校数・予算額の推移＞

(文部科学省調べ)

年 度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
配置校数	154	553	1,065	1,661	2,015	2,250	3,750
予 算 額	3億円	11億円	22億円	33億円	34億円	36億円	40億円

※平成13年度は、予算積算上の校数。

(参考) スクールカウンセラー活用調査研究委託事業 (平成7年度～12年度)

⑧ 「心の教室相談員」の配置

＜「心の教室相談員」配置校数・予算額の推移＞

(文部科学省調べ)

年 度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
配置校数	7,493校	7,813校	7,749校	6,250校
予 算 額	34億円	41億円	40億円	34億円

※平成13年度は、予算積算上の校数。

⑨子どもの体力・運動能力の変化

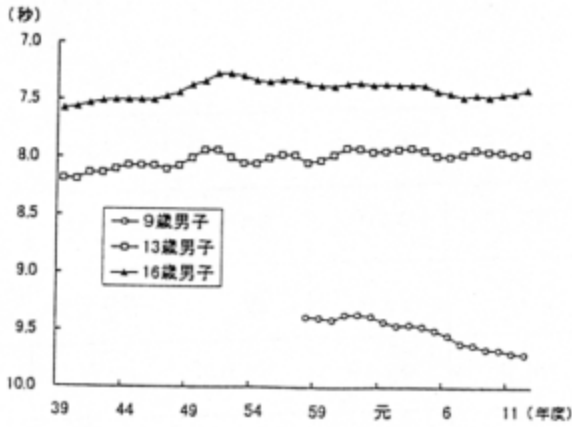


図1 50m走の年次推移(男子)

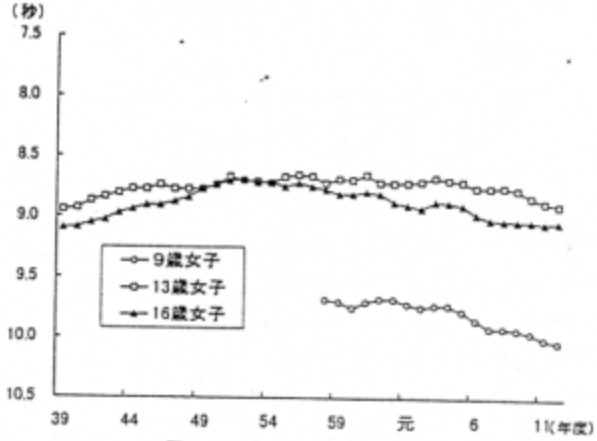


図2 50m走の年次推移(女子)

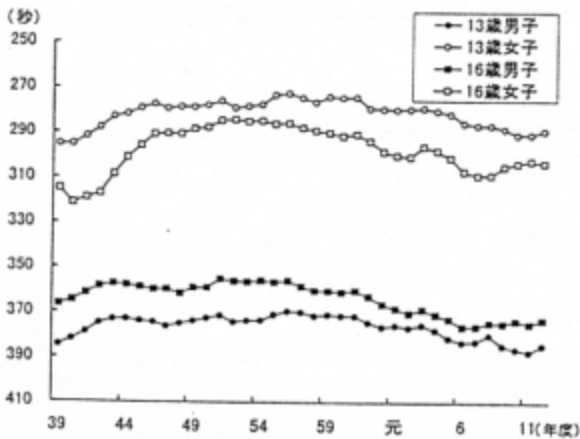


図3 持久走の年次推移(男子1500m、女子1000m)

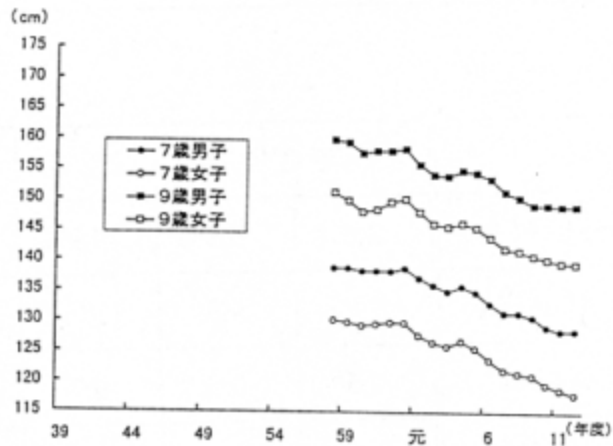


図4 立ち幅とびの年次推移

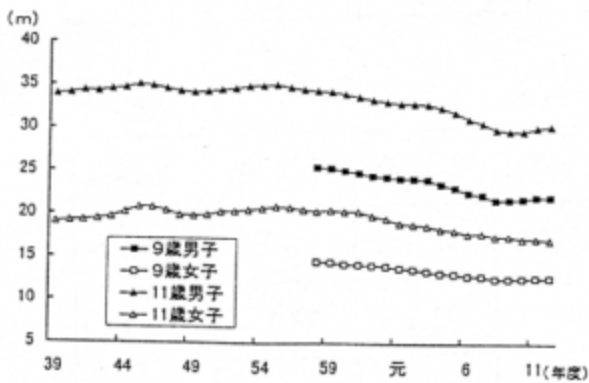


図5 ソフトボール投げの年次推移

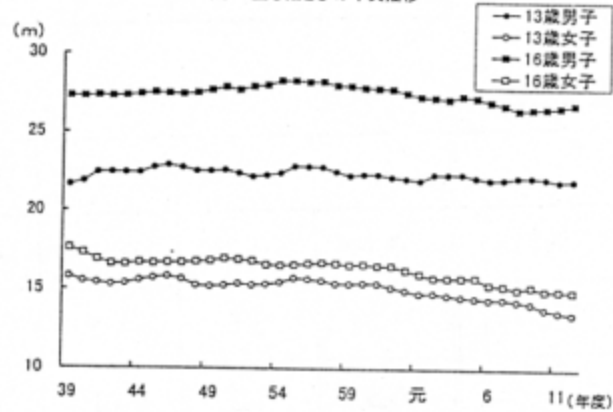


図6 ハンドボール投げの年次推移

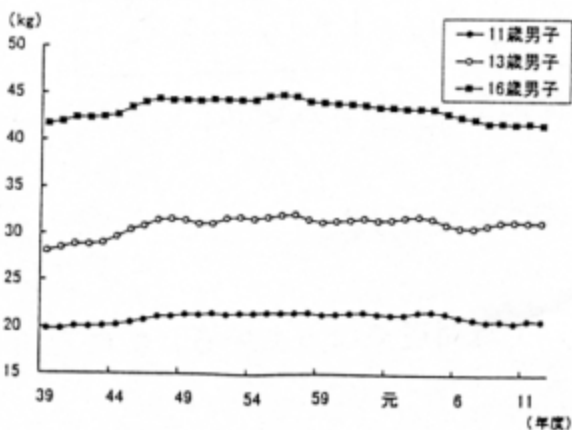


図7 握力の年次推移(男子)

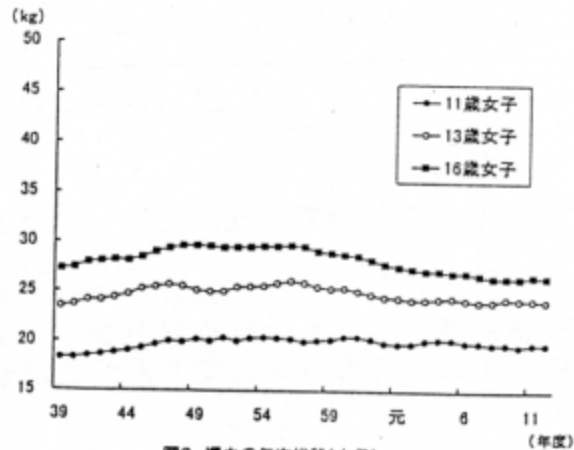


図8 握力の年次推移(女子)

⑩子どもの平日の就寝状況の推移

1 小学生

	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時
1965(昭和40年)	2.8%	22.8%	77.8%	95.8%	99.4%	99.9%	100.0%
1975(昭和50年)	1.0	7.7	70.7	96.9	98.6	99.7	99.7
1985(昭和60年)	1.1	4.5	59.1	94.2	98.6	99.7	99.7
1995(平成7年)	0.3	3.4	36.0	80.1	96.5	99.7	99.7

2 中学生

	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時
1965(昭和40年)	2.6%	9.9%	43.9%	76.9%	95.6%	98.1%	99.0%
1975(昭和50年)	3.8	4.9	11.7	43.2	77.1	87.6	94.4
1985(昭和60年)	0.5	0.5	9.7	45.5	84.2	94.5	97.6
1995(平成7年)	1.8	2.0	5.6	30.9	69.8	91.2	96.4

3 高校生

	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時
1965(昭和40年)	3.1%	5.7%	18.1%	49.3%	78.8%	91.9%	95.6%
1975(昭和50年)	1.8	3.6	4.5	18.8	51.3	78.1	87.9
1985(昭和60年)	3.5	1.3	4.1	17.8	57.6	76.8	88.2
1995(平成7年)	2.9	3.4	4.0	13.2	44.2	73.0	85.4

(出典)「国民生活時間調査」NHK放送文化研究所

(注)

それぞれの時刻において、既に就寝している者の率をあげた。

○小・中学生、高校生とも就寝時刻が30年間で1時間遅くなっている。特に高校生では、午前1時でも4人に1人がまだ起きている。